

本来、自然の摂理では持続可能というものはありえません。森羅万象は諸行無常であり、エントロピーの法則では「物事は放っておくと乱雑・無秩序・複雑な方向に向かい、自発的に元に戻ることはない」と定義されています。

分かりやすく例えるなら、人も会社も団体や組織も、成り行きに任せていると待つのは消滅です。

私たちは後退しているベルトコンベアの上で生きているのです。だから、何もしなければ、どんどん後ろへ下がり、歯を食いしばって前に進んで初めて現状維持、もっと頑張らないと前には進めません。

つまり、安定した平和な地域社会の中で、希望を生み育てることとは、自然の摂理に逆らうことであり、必死になって努力をしなければならぬのです。

私は簡単なようで、非常に難しいテーマを考えました。ぜひ、これに向かってみんなで努力をしましょう。

人はそれぞれ価値観や考え方が違います。だから、大いに議論や討論すべきでしょう。

また、先日、大変盛り上がったWBCは国同士プライドをかけて戦いました。その少し前にはサッカーやラグビーの世界カップもありました。

そのラグビーでは、試合が終われば敵も味方もなく、お互いの健闘を称え合い、感謝し、ラグビーを楽しんだ仲間として友情を深めるというもので、ノーサイドの精神といいます。

クラブの運営や活動において様々なぶつかり合いがあっても、「みんな仲良く」を意識し、一丸となって、変化する社会の中でも持続可能な組織を目指したいと思います。